

さらに暮らしやすいさいたま市をめざして、 来年度予算の「編成」「要望書」作成に 取りかかります。



政策提案に関わる「公明党さいたま市議会議員団」浦和区役所ロビーにて

6月定例会が閉会し、いよいよこれから来年度の「予算編成並びに施策に対する要望書」作成に取りかかります。会派所属の各議員が調査研究テーマを持ち寄り、この夏に現地調査やヒアリングを行い、秋の議会での審議のために、要望書を作成して市長に提出します。提出後も継続して政策の提案に取り組み、議会での一般質問や代表質問に臨みます。

昨年度の要望書の「回答」では、手掛けた課題がひとつずつ整理され、形になっていきました。今年度からスタートする「スクールロイヤー（学校弁護士）制度」や浦和駅東口のコムナーレ（浦和パルコ）9階に今秋オープンする「セカンドライフ支援センター」は、これまでの「要望書」で強く訴えてきたものが実現しました。

また、高齢者のためのICTを活用した「次世代型見守りシステム」や「長寿応援手帳」の刷新などは、今後その成果が現れていくべきもので、今まさに現在進行形で取り組んでいる政策です。

議会での発言議事録や「要望書」は私たちが提案し、取り組んできたことへの証となるものです。平成31年（令和元年）度予算についての「回答書」は60ページ近い冊子となりますが、さいたま市のホームページに掲載されていますので、市民の皆さま方にもぜひご覧頂きたいと思えます。

◆長寿応援手帳◆

「長寿応援手帳」は、さいたま市の「長寿応援ポイント」事業に登録すると配られるものです。

市内にお住まいの65歳以上の方が、朝のラジオ体操やゲートボール、趣味の囲碁や将棋などを登録グループ（浦和区内で約100グループ）に参加して行くと、「長寿応援シール」がもらえます。長寿応援手帳にシールを貼り、ポイントを貯めていくことで、年間最大5000円を受け取ることができます。

この長寿応援手帳が、今年からさらに充実されます。健康に関する情報や、商店で割引を受けられる情報が新たに盛り込まれ、今後も刷新されていくとのこと。詳しくは浦和区役所内高齢介護課まで、お問い合わせ下さい。

Key Word